

(様式3)

## 自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員と共に作り上げた具体的な理念がある。理念を活かしたケアを職員は日々心掛けている。	○ 職員全員で作り上げた理念が日々のケアの中実施されている。継続できるよう、環境の整備を行っている
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員と共に作り上げた具体的な理念がある。理念を活かしたケアを職員は日々心掛けている。朝、夕の申し送りでは唱和し共有している。	新しい職員とも共有できるよう日々のケアに「共に」を意識し実践している。ホーム内に理念を掲げ、ケアの中に生かされるように意識している
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念を基にケアを行なっている。日々のケアを家族と共有できるよう、連絡を取り合ったり報告を行なっている	○ 地域とのかかわりがまだ不十分な点がある。今後、地域の方にも理解して頂けるよう工夫が必要。積極的に外出し近隣にホームを理解して頂けるようにしていく。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時には近隣の方に挨拶を行っている。近隣の店を利用し（喫茶・美容院等）顔見知りの付き合いがある	○ 地域の方がまだ来られることが少ない。もっと立ち寄りやすくする為の広報がまだ不十分。地域の方が参加できる行事・活動に工夫。近隣のお店のかたは協力的に援助して頂いて交流を深めている
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の小学校・幼稚園との関わりはある（運動会・音楽会への参加）	○ 自治会・老人会など地域の行事への参加を検討子供達との交流が出来つつある。今後も交流を深めていきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の高齢者との関わりがまだ出来ていない</p>	○	<p>運営推進会議を利用し地域との交流を深めて行く近隣の方が介護等の相談に来られた時は、話を聞き相談・援助を行なっている</p>
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>リーダー、社員は評価の意義を理解し、役立てようと取り組んでいるが、全体には未だ理解が不十分である</p>	○	<p>ミーティング等で全体が理解できるようしているが、全体が理解できるよう検討が必要</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>まだ開催は1回であるが、貴重な意見が聞けた。またサービス向上に活かしている</p>	○	<p>地域の方の参加をもっと増やしていきたい。家族の参加者も増やして行くよう勤める</p>
9	<p>○市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>入居されている方の担当ケースワーカーの意見を聞いたり、地域の「あんしんすこやかセンター」と連携を取れるようにしている。</p>	○	<p>地域の連絡会議には参加し情報を得たり、連携が取れるようにしている。ケースワーカーとも連携を取りサービスの質の向上に努めている</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>入居者の中に後見人制度を利用しているので、一部の職員は理解しているが、まだ全体に理解できていない</p>	○	<p>制度に関し学ぶ機会を作るため、学習担当を決めた。今後、継続した学習を行い活用できるようにしたい</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>理念を基にケアを行なっている。事業所内では虐待が見過ごす事のないよう職員は意識している。</p>	○	<p>学ぶ機会がまだ少ない。また、見過ごす事のないような態勢づくりを考えていきたい。学集会の開催を検討中</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時に契約書・重要事項説明書で十分な説明を行なっている。	○  納得されるまで十分に説明し、聞きやすい雰囲気をつくる様努力している
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者から意見が出やすいよう、1対1の関係作りも行なっている。意見や苦情は管理者、職員で共有し、すぐに対応するよう努めている	○  隠された苦情、不満に気付く態勢を整える
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	日々の生活や変化等、報告をするようにしている。毎月1回手書きのお手紙を送っている。また、電話で家族と入居者様が自由に話せるよう援助している。	○  物品購入時や外出時。体調の変化のあった時などご本人から電話できる体制をとっている。また職員からも詳しく説明を行なっている
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時には、入居者様の様子を伝え、家族より情報を得る、得た情報は職員間で共有している	○  隠された苦情、不満に気付く態勢を整える。家族が、どの職員とでも気軽に話せるよう体制を整える。運営会議などを利用し家族様から意見・要望が開ける体制をとっていく。また家族会を開催できるようサポートしていく
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者と自由に話せる機会を毎月1回取っている。運営者の部屋はドアを開け、職員がいつでも意見を話せるようにしている。	○  職員からの意見がまだ少なく、自由に意見が出るような雰囲気作りを検討する
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	家族からの要望や急な状況の変化に対応できるよう、フリーで職員を配置できるよう調整しているが、まだ不十分な日もある	○  職員は馴染みの関係を作る中、他のフロアにも対応できるよう日々交流が出来ている。状況の変化にもすぐ対応出来る。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の退職や移動は必要以外には、ないよう努めているが、やむをえない場合は入居者への配慮は十分に行なっている</p>	○	<p>ホーム内での役割を持つことで仕事に対し、やりがいを感じるよう支援したり、配置換えを少なくするよう努力している。代わる場合はできる限り説明をし、急に変わることをないよう配慮している</p>
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各職員の係り・担当を決め学習する機会を設けている。外部の研修案内を閲覧できるようにしている</p>	○	<p>ホーム内での学習会をすすめていく。外部研修の機会を増やして行く</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の連絡会やグループホームの連絡会に参加しネットワーク作りを行なっている。相互の見学も行い意見の交換をしている</p>	○	<p>もっと多くのネットワークを作りサービスの向上を図っていく。今後も地域の連絡会に積極的に参加をしていく</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>運営者と自由に話せる機会を毎月1回取っている。</p>	○	<p>運営者に相談できる体制をとっていく</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>努力や実績、勤務状況の把握はしているが向上心をもてるような働きかけはまだ不十分である</p>	○	<p>外部に研修に行く機会を設けているが、まだ不十分と感じている、今後も外部研修に参加しホームの職員にフィードバックできるような体制をとっていく</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前から本人・家族と十分な時間をとり、いつでも見学にきてもらえる体制がある。体験入居もあり不安なく利用できるようにしている	○  隠された不安がないか十分な聞き取りが必要。当ホームで取り組んでいる事を説明していく。
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前から本人・家族と十分な時間をとり、いつでも見学にきてもらえる体制がある。体験入居も不安にも答えられるよう傾聴に心掛けている	○  隠された不安がないか十分な聞き取りが必要
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受け一番必要なサービスを見極め、本人・家族が選択できるように助言している	他ホームや他福祉サービスと連絡を取り合っ適切な支援が出来るよう対応している
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前から本人・家族と十分な時間をとり、いつでも見学にきてもらえる体制がある。体験入居もあり不安なく利用できるようにしている	○  体験入居をしていただいたり、外泊もされたりと、徐々になじんでいただけるよう支援している。家族にも不安のないよう、連絡を入れている
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○利用者と共に過ごし支えあう関係  職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	理念の基ケアしている中、「共に生きる」を実践している	○  言葉遣い、声かけ、行動など入居者様の尊厳を大切にし職員間でお互いに注意できる雰囲気をつくる

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○利用者を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	理念の基ケアしている中、「共に生きる」を実践している。家族との関係が築かれて行くよう努力している	○	本人・家族・職員共に良い関係を築いていけるよう日々努力している
29	○利用者と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人・家族・職員お互いが理解し合えるよう連絡し合い話す機会を持つようにしている。	○	本人・家族・職員共に良い関係を築いていけるよう日々努力している。今後、家族会等も検討していきたい
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者の中には以前住んでいた近隣の方が面会に来られたり、友人の面会も多くある。	○	家族以外にも来所しやすい雰囲気を作っていく
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様も一緒に援助されたり、他の方の居室に訪問に行ったりと、よい関わりが出来ている	○	状況をみながら職員が間に入り過ぎないようにしている
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所される際、家族様にいつでも相談していただけるよう話している	○	病院に入院、退所がある中、家族様に了解を得て面会している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日中のスケジュールは決めず、本人の希望、要望を重視している。本人から希望の聞きとりが困難な場合、家族から生活歴を聞き取り家族・職員共に検討している	○ 食事・入浴など時間スケジュールは決めずご本人の思いを大切にしている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居にあたって、ケアマネと連携を取り今までのサービスの利用状況を把握する。	○ 家族や本人とのコミュニケーションを十分にとる
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	カンファレンスを開き一人ひとりの状態を把握し共有するようにしている。	○ 職員のなかでまだ十分に理解していない部分がある
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスを開き職員の意見交換を行なっている。介護計画には家族・本人の意見を反映できるように連絡を取り合うようにしている	○ まだ、全体にばらつきがある全ての家族・入居者さまの意見が出るよう工夫する
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	必要に応じカンファレンスは行ない、家族の意見を聞いているが、介護計画を作成するまでに至っていない場合がある	○ 介護計画にすぐ反映できる状況、時間の確保が必要。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケアの記録はされているが、記録の方法にばらつきがある。介護計画の見直しの際、反映はされている。	○	記録の勉強会、簡潔な記録の方法の勉強会が必要
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外部のサービスとの連携をとり必要とされているサービスにつなげられるよう支援している	○	今後も外部との連携を取っていき家族や利用者により良いサービスが提供できるようにしていく
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	小学校・幼稚園との交流はあるが、民生委員やボランティア等の交流はまだできていない	○	運営推進会議を開催し民生委員や地域との交流を深めて行く必要がある
41	○他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域のケアマネや他ホーム、他サービス事業者と連携を取っている。訪問看護の利用も行なった	○	外部のサービスとの連携をとり必要とされているサービスにつなげられるよう支援している
42	○地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの連絡はとっているがまだ十分とはいえない。	○	認定調査・運営推進会議など関わりが出来て行く中、相談にも対応してもらっている



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援  利用者が家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医にかかっている方が多いが、歯科や地域の総合病院にも受診することがある。家族や本人の希望があれば他病院に受診も可能である	○	現在のかかりつけ医には利用者を十分に把握していただき、家族からの信頼を得ている。今後も適切な説明や受診が受けられるよう要望を聞きながら支援していく
44	○認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	地域の神経内科を受診している。診断や治療は受けているが、職員の病気に関する相談などはまだできていない	○	今後認知症に関する相談や、薬に関する相談等行なっていきたい、連携を密にしていきたい
45	○看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護と連携をとりケアをすることはあるが、常に連絡はとっていない	○	訪問看護事業所とは連絡を取れる関係作りはできている。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院や手術をした場合顔見知りの職員が見舞いに行くようにし、医療機関と相談し出来る限り早期の退院をしていただけるよう、依頼している	○	出来る限り入院を避けられるよう支援している。病院と連携を取り通院で対応してもらえよう関係作りをしている。職員も入院のリスクを把握している
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族・主治医とは終末期の話は行なっている。状態が変化中での話し合いも行なっているが、まだ職員のなかで不安を抱えている	○	職員の中で何が不安なのかを把握し不安なく情報を共有しケアできるようにしていく必要がある。勉強会を開催して行く
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期に向けたケアを家庭的な雰囲気の中で行なえるよう、主治医と連携を取っている。家族の希望を伺いながら、出来る事、出来ない事の説明を行なっている	○	状況に合わせて定期的に説明を行なっていくようにする

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>家族との連携を十分に取るようにしている。入居者様のことを第一に考え対応するようにしている</p>	○	<p>入居者様に負担になる事を十分に把握し情報交換を行ないたい</p>
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>				
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>				
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーの確保を日々意識し、朝の申し送りなどでも職員間でお互いに意識できるようにしている</p>	○	<p>職員間でお互いに注意しあい意識する</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>生活歴を家族などから集めたり、個別に1対1での会話や外出時の会話から得た情報を職員間で共有し合い援助している。まだ、自己決定が十分にされていない部分もある</p>	○	<p>入居者様のペースで話しやすい雰囲気をつくり、自己決定が出来るように支援していく。</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者様を最優先にとの援助はリーダー始め、職員に実践されている。特に決められたスケジュールは作らず、その日その時したい事を実現できるように援助している</p>	○	<p>一部職員都合で動いてしまう事があるが、出来る限り入居者様のペースを尊重して援助できるようにしている</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>美容院は近隣に出かけている</p>	○	<p>意思疎通の難しい方も以前されていた髪形など家族より聞き取っていきその人らしさを支援していく</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る方、したい方は積極的にされている。食事の準備が苦手な方が多くスタッフが中心に行なってしまう	○ 出来た喜びを感じていただけるよう工夫が必要
55	○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	以前はタバコを喫煙されていた方はいたが、現在はいない。おやつは一部の方は楽しんでおられる。飲酒は家族と外出の際に楽しめる	○ 家族・医師の了解をいただき個別に対応していきたい
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の係りが中心となり、排泄パターンを把握するよう動き始めた。一部の方は、パターンを把握し、リハビリパンツの使用をなくしていった	○ 継続して状態を把握し、気持ちの良い排泄を全ての入居者さまが出来るように支援していく
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	おおまかな時間は決めているがその時の気持ちを大切に、入りたい時に入れる・を出来る限り行なっている	○ 夜間の入浴が安全面を考えると無理なところがある。職員の体制が整っている日中であれば好きな時・必要な時に入浴ができています
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入眠時間は特に決めていない、体調等みながら休んでおられる	○ 安心して休息できる環境を整えていけるよう常に入居者さまの要望を聞き取り、様子を把握するように努める
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事を自分の仕事とっておられる。楽しみながら職員と共に笑顔でされている	○ 家事以外にも気晴らしの工夫をしていく。趣味・特技を生かし、囲碁を職員に指導される入居者様もおられ役割を持っていただいている


項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の方は現金を自己管理しており、職員と一緒に買物にも出かける		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣の喫茶店、フェミリーレストランにでかけたり、公園や庭に日々外出をしている		入居者さまから声が出るように働きかける
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	花見・菊花展など家族と共に出かけている	○	季節ごとの行事を増やしていく
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族と連絡の取れる時間をあらかじめ聞いておき、自由に電話をしていただけるよう支援している	○	電話の利用は増えつつある。家族様にも気遣いなくかけていただくよう、伝えて行く
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	リビング・居室以外にも、庭で談笑している	○	訪問時はリビングで過ごされることが多いが、今後空きスペースの活用も検討していきたい
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行なっていない		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>鍵の弊害を理解しているが、2F3Fに限っては、構造上入居者の安全を考え家族了解の下施錠している。玄関は開錠している</p>	○	<p>2・3Fに限っては、ドア前がすぐに階段になっており安全を考え施錠しているが、希望があれば出来る限り、一緒にドアを開け外に出るよう支援している</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>居室で過ごす間や、一人の時間を持っている時には、そつと様子のみ確認させていただく</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>危険な物品は簡単な施錠しているが、スタッフが常に見守れる場所は日常の生活ありのままている</p>	○	<p>特に危険な物品はフロアにはおいていない。日常の掃除道具や物品は職員と一緒に取り出し一緒に扱うようにしている</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>消防訓練を行い緊急連絡網も職員が把握している。ヒヤリハットを回覧することで職員が危険予知し事故防止に努めている</p>	○	<p>経験がなく不安に思う職員がいる、勉強会等開く事も考えてみる</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>応急手当など緊急時に対する勉強会が開けていない</p>	○	<p>学習担当を決め今後学んでいけるように動き出したところである</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防訓練を行い緊急連絡網はあるが、地域との連携がまだ不安なところがある</p>	○	<p>日頃より地域との関係を密にし、災害時にはお互いが協力出来るような体制をとっていきたい</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	自由に生活を送っていただく中、リスクがある事を説明している、家族が十分に理解して頂いているか不安はある	○	定期的に家族と共にリスクについて話し合う機会をもうけていきたい
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員間で状況を把握し、連携を取っている	○	職員間で連携を密にとっている
74	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局から出る薬の説明書は職員がすぐ見られるところに保管している。症状の変化も申し送られている	○	薬剤師との連携は取れている。薬に関する知識を深めていくようにしていく
75	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	雑穀米を取り入れたり、朝1杯の牛乳など個別対応をしている。刻み食やミキサー食もしている		管理栄養士によるバランスの取れたメニューの中、手作りで個別対応をしている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔ケアは出来る限り本人が行い、磨き残しの多い方には援助している	○	見守りを行なって出来ない部分のみ支援し清潔を保てるように継続していく
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量やバランスは管理栄養士に依頼している。水分は自由に飲めるようにしているが、状況によりスタッフが管理している場合もある。お茶時間をだまかに決め、1日の必要量が摂取できるようにしている	○	全体が自由に必要な量が飲めるように工夫する必要がある

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等）	手洗いは徹底するよう意識している。個々の感染に対しての取り決めがまだ不十分である	○	勉強会を通し、対応を決めていきたい
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒に関する情報を台所に貼り意識し実行している。食事担当を決め食材・食器に気を配っている		食材は毎日搬入されて、新鮮な食材が配達されている
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りは草花を植え入りやすく、親しみやすくしている。玄関にベンチをおき靴の履き替えや、休憩に使用している	○	季節の花を入居者さまと一緒に植えている。明るく親しみやすい雰囲気を意識している
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有部分は、絵や行事の写真を貼っている。季節によりひな飾り、鏡餅、など季節感を味わえるよう工夫して	○	入居者さまと共に作って行く。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	建物の構造上、一人になれる空間が少ないが椅子で工夫している。入居者もよく利用され落ち着かされている	○	一人になれる空間が活用されている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅にあった家具や仏壇を入れ居心地よく過ごして頂けるよう工夫している</p>	○	<p>家族の協力を得て工夫して行く必要がある。馴染みの物・使い慣れた物を取り入れていきたい。</p>
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>空気のだよみはない、においも職員同士気をつけるよう意識している</p>	○	<p>換気には常に気をつけている。湿度にも気をつけていきたい</p>
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下・リビングはバリアフリーになっている。移動時は見守りを行い出来るだけ手を出さないように自立を妨げないようにしている</p>	○	<p>介助の必要な部分、見守りでよい部分の見極めを十分に行い、自立の妨げにならないようにし、安全を確保していきたい</p>
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>口腔ケアや配膳など自立し本人ができるよう、希望があれば名前を入れる場合もある。</p>	○	<p>混乱を防ぐようトイレ・洗面に名前を貼ったり居室のまちがいを防ぐように、表札を作ったりしている</p>
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>庭は入居者と共に花を植えたり、掃除をしているが、ベランダの活用が不十分</p>	○	<p>入居者様が活用できない部分がある。危険のない部分は入居者様と共に今後活用していきたい</p>

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)